

「ゆく川の流れ」解釈するための 問 二十四題

授業の前には傍線注釈をして、次の問に解答しておくこと。情報共有化「Time」を作るが、解答する時間では無い。《内は、傍線注釈時に挿入するヒントである。

問一、次の漢字の読み方は？

1 棟 2 経て 3 仮の宿り

①問二、傍線注釈

①問三、「ずして」と同じ意味になる接続助詞は？

①問四、「もとの水」をもうちよつと詳しく説明して

②「……うたかたは《常にそこにあるように見えるが、よく見ると》、かつ消え……」

②問五、「かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。」傍線注釈

問六、①と②はどちらも「無常」だが、どのような質の違いがあるか？
簡潔に述べなさい。

③問七、「かくの」とく、どうなの？

④問八、「たましきの」って「都」にかかる何？

④問九、「棟を並べ、薨を争へる、高き、いやしき、人の住まひは」傍線注釈

④問十、「薨を争へる」って具体的に何を争っているの？

⑤問十一、「世々を経て尽きせぬものなれど」傍線注釈

⑤問十二、「これ」とは何？現代語で

⑤問十三、「まことかと尋ねれば、昔ありし家はまれなり」傍線注釈

⑥問十四、傍線注釈

⑥問十五、何が焼けたり何を作ったりしたの？

⑥問十六、この文は①、②の文のどちらに関連している？それはなぜ？

⑦問十七、この文は①、②の文のどちらに関連している？それはなぜ？

⑧問十八、「これ」とは何？現代語で

⑧問十九、「所も変はらず、人も多かれど、」傍線注釈

⑧問二十、「いにしへ見し人は、二、三十人が中に、わづかに一人二人なり。」傍線注釈

⑧問二十一、「いにしへ見し人は、二、三十人が中に、わづかに一人二人なり。」この文は①、②の文のどちらに関連している？それはなぜ？

⑨問二十二、傍線注釈

⑨問二十三、この文は①、②の文のどちらに関連している？それはなぜ？

⑩問二十四、「知らず」何を知らない？抜き出す。

⑩問二十五、「いづ方より来たりて、いづ方へか去る。」傍線注釈

⑪「仮の宿り」…《無常なこの世の》仮住まいにすぎない家《について》

▼…文法的説明（二単語以上だったら品詞分解）

◎…指示に従い答える

※何もついでないものはヒント

※「品詞分解」…単語に分け、それぞれの単語を文法的に説明すること。

① a) ▼ 「絶え」

③ b) ▼ 「いづ」

⑤ c) ▼ 「経て」
⑤ d) ▼ 「尽きせぬ」
⑤ e) ▼ 「尋ねれば」

⑥ 「あるいは」…「或いは」と訳さない！

⑧ f) ▼ 「多かれど」

⑨ g) 係り結びを指摘して、結びの語を文法的に説明する

⑨ h) 係り結びを指摘して、結びの語を文法的に説明する

⑪問二十六、「たがためにか心を悩まし、」傍線注釈

⑪問二十七、「何によりてか目を喜ばしむる。」傍線注釈

⑫問二十八、「いはば朝顔の露に異ならず。」傍線注釈

⑬問二十九、傍線注釈

⑭問三十、「露なほ消えず」現代語訳

⑭問三十一、「消えずといへども夕べを待つことなし。」傍線注釈

⑭問三十二、「夕べを待つことな」くどうなの？

⑫く⑭問三十三、「朝顔」・「露」はそれぞれ何を指している？

問三十四、対句表現をまとめなさい。

⑬⑬
ㄆㄆ
▼▼ 「残り」
「枯れぬ」

⑪ㄆ係り結び（2つ）を指摘して、
結びの語を文法的に説明する

ゆく川の流れば―――――絶えずして―――――もとの水にあらず。

①②

④たましきの都の内に、

棟を並べ、
薨を争へる、

⑦⑥

⑧
所も変はらず、

⑨

ならひ

⑩

知らず、
また知らず、

⑫その

⑬⑭

あるいは
あるいは